【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【公表番号】特表2007-506609(P2007-506609A)
【公表日】平成19年3月22日(2007.3.22)
【年通号数】公開・登録公報2007-011
【出願番号】特願2006-519775(P2006-519775)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｒ　13/08　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｒ　13/08

【手続補正書】
【提出日】平成19年3月23日(2007.3.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
自動車室内への跳ね水ノイズの伝わりを低減し、かつタイヤが車道上で回転することにより発生するノイズを吸収するものであって、複数層の材料（６、１０、１０’、１０’’、９、９’）から作られている自動車用ホイールハウスカバー（１）において、
前記材料層は、ホイールハウジングに面する第一の織物材料層（６）を含む少なくとも三層の通気性のサンドイッチ型材料層（６、１０、１０’、１０’’、９、９’）を備えており、ホイールハウジングに面する前記第一の織物材料層の通気度は、１ミリバールの試験圧力で１５～６０ｌ／m^2ｓであり、第一の材料層（６）及び第三の材料層（９、９’）の間に配置された第二の織物材料層（１０、１０’、１０’’）の通気度は、１ミリバールの試験圧力で１００～１５００ｌ／m^2ｓであり、そして、第三の材料層（９、９’）は、タイヤに面する織物材料層であり、その通気度は、１ミリバールの試験圧力で２０～２００ｌ／m^2ｓであることを特徴とする、ホイールハウスカバー（１）。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１５】
第一の材料層（６）の通気度は、第二の材料層（１０、１０’、１０’’）の通気度に比べより低く、そして、第二の材料層（１０、１０’、１０’’）の通気度は、第三の材料層（９、９’）の通気度に比べより低いことを特徴とする、請求項１～１２又は１４のいずれか一項に記載のホイールハウスカバー。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
サイドカバー３及び４も、複数の材料層から作られ、エンジンに面する材料層の通気度が、隣接する材料層の通気度よりも大きい。サイドカバー３及び４は、特に、二層を上回

る材料層から作られ得、材料層のサウンドインピーダンスが、エンジンに面する材料層からタイヤに面する材料層に向かって、増加していく。